



2011年度地区別懇談会の様子【関連記事6ページ】

大学院薬学研究科 薬学専攻博士課程(4年制)の設置について



薬学研究科長 齊藤 浩司

薬学6年制の実施という大規模な制度改正に伴い、薬学研究科では大学院における今後の教育研究の在り方について検討を重ねてきました。その一環として、従来の修士課程(薬学専攻・医療薬学専攻)を再編し、2010年4月に新たに生命薬科学専攻修士課程を開設してきたところです。そして2012年4月より、6年制学部基礎を置き主として医療薬学・臨床薬学に重点を置いた教育研究を推進する新博士課程(4年制、入学定員3名)がスタートします。6年間の学部教育がジェネラリストとしての薬剤師を養成するステップとするなら、新博士課程は薬に関する高度な専門性を身につけて薬物療法の推進に寄与するスペシャリストを育成するためのステップと言えます。したがって、薬学6年制課程の卒業生ばかりでなく、修士課程修了者さらには薬学以外の6年制医療系学部出身者にも広く門戸を開くカリキュラム体系を整えました。

本学の新博士課程の特色をいくつかご紹介します。まず、旧博士課程で6つに細分されていた研究分野を「基盤薬学系」と「臨床薬学系」の2分野に再編したこと

が挙げられます。これは、大学院担当教員が個々の専門性にとらわれることなく分野を横断して連携・協力し、研究能力ばかりでなく指導力や応用力、企画力などを統合的に身につけた人材の育成に取り組むことを鮮明にするものです。これに連動して、1年次には指導教員以外の教員の研究指導の下で他分野の研究手法や技術を習得することができる基盤研究総合実習が設けられています。授業科目は1～2年次に医療薬学基盤科目14科目を、3～4年次に医療薬学応用科目10科目を配し、これらを原則選択とすることで学生が個々の興味を基に主体的に学べるカリキュラムとしました。さらには、2～4年次に提携医療機関に常駐し専門医や専門薬剤師の指導の下に臨床研究を展開しながら単位を修得していくことができるなど、様々なコースワークにより学位の取得を目指せるようになっていきます。

今後この新博士課程の特色を広く知ってもらうとともに、社会人学生の受け入れも積極的に図りながら、定員の確保に努めていきたいと思っております。皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

CONTENTS

大学院薬学研究科	1
薬学専攻博士課程(4年制)の設置について	1
教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介	2
「敬老の日の高齢者健康相談」に参加 本学歯学部教員等に対する感謝状の贈呈	2
歯科医療最前線	3
2012年度 入試情報・入試結果速報	4
短期留学生が来学	5
2011SCP任命式 合同就職相談会開催	5
学校法人東日本学園後援会	6
大学・専門学校同窓会役員との懇談会 プレセミナーin北海道医療大学	6
心理科学研究科の研究結果が学会賞を受賞 認定看護師研修センター修了式	7
授業レポート	8
私の学生時代	9
OG訪問[心理科学部言語聴覚療法学科]	10
STUDENTS' ACTIVITIES & EVENTS	11
SCRIP 2011	12
EDITOR'S NOTE	